



平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年10月28日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社ファンケル

コード番号 4921 URL <http://www.fancl.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 成松 義文

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員管理本部長 (氏名) 島田 和幸 TEL 045-226-1200

四半期報告書提出予定日 平成23年11月11日

配当支払開始予定日 平成23年12月 5日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績 (平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	43,920	△4.1	1,521	△41.2	1,470	△40.2	801	△18.0
23年3月期第2四半期	45,776	△4.0	2,588	△17.2	2,460	△20.7	976	△36.7

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 800百万円(△17.3%) 23年3月期第2四半期 968百万円(—%)

	1株当たり四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益	
	円	銭	円	銭
24年3月期第2四半期	12	.34	12	.30
23年3月期第2四半期	15	.04	15	.01

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	92,637		78,151			84.1
23年3月期	94,030		78,647			83.2

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 77,912百万円 23年3月期 78,269百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
23年3月期	—	17.00	—	17.00	34.00	
24年3月期	—	17.00				
24年3月期(予想)			—	17.00	34.00	

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想 (平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	94,000	0.2	6,000	△15.7	6,000	△10.0	3,000	5.3	46	.22

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

24年3月期2Q	65,176,600株	23年3月期	65,176,600株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

24年3月期2Q	291,057株	23年3月期	240,901株
----------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

24年3月期2Q	64,909,935株	23年3月期2Q	64,926,812株
----------	-------------	----------	-------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続を実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信 (添付資料) 5 ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	5
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	5
2. サマリー情報(その他)に関する事項	6
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	6
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	6
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	6
3. 四半期連結財務諸表	7
(1) 四半期連結貸借対照表	7
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	9
四半期連結損益計算書	9
四半期連結包括利益計算書	10
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	11
(4) 継続企業の前提に関する注記	13
(5) セグメント情報等	13
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響による供給制約・電力不足のため、前半は生産および輸出が落ち込み低迷したものの、制約の解消に伴い景況は回復に転じました。一方、欧米景気の減速懸念の高まりや南欧の財政危機、さらに円高・株安など内外の環境は厳しさを増しており、先行きは不透明感が強くなってきております。

当第2四半期連結累計期間の売上高は、栄養補助食品関連事業が増収となったものの、化粧品関連事業およびその他が前年同期を下回り、全体では43,920百万円(前年同期比4.1%減)となりました。四半期別にみると、第1四半期連結会計期間は震災の影響により大きく落ち込んだものの、第2四半期連結会計期間に入り、販売促進策を本格的に再開したことなどにより、ほぼ前年並み(前年同期比0.8%減)まで回復しました。

損益面では、人件費の削減などコストの効率化を推し進めたものの、ダイエットサプリメント「カロリーミット」のTVCMを実施したことなどによりマーケティング費用が前年同期に比べて増加し、営業利益は1,521百万円(前年同期比41.2%減)、経常利益は1,470百万円(前年同期比40.2%減)、四半期純利益は801百万円(前年同期比18.0%減)となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

① 化粧品関連事業

売上高

化粧品関連事業の売上高は22,706百万円(前年同期比4.4%減)となりました。

	平成23年3月期 前第2四半期連結累計期間		平成24年3月期 当第2四半期連結累計期間		伸び率 (%)
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	
ファンケル化粧品	18,733	78.8	18,116	79.8	△3.3
アテニア化粧品	4,317	18.2	3,978	17.5	△7.9
その他	706	3.0	611	2.7	△13.5
合計	23,757	100.0	22,706	100.0	△4.4

	平成23年3月期 前第2四半期連結累計期間		平成24年3月期 当第2四半期連結累計期間		伸び率 (%)
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	
通信販売	11,844	49.9	11,278	49.7	△4.8
店舗販売	8,033	33.8	7,454	32.8	△7.2
卸販売他	1,208	5.1	1,093	4.8	△9.5
海外	2,671	11.2	2,878	12.7	7.8
合計	23,757	100.0	22,706	100.0	△4.4

ファンケル化粧品は、「マイルドクレンジングオイル」や限定発売した「ホワイト洗顔パウダーC」が好調だったものの、その他の製品群が振るわず、18,116百万円(前年同期比3.3%減)となりました。

アテニア化粧品は、サマーキャンペーンの実施などにより回復傾向にあるものの、震災直後の売上の落ち込みが響き、3,978百万円(前年同期比7.9%減)となりました。

販売チャネル別では、通信販売は11,278百万円(前年同期比4.8%減)、店舗販売は7,454百万円(前年同期比7.2%減)、卸販売他は1,093百万円(前年同期比9.5%減)、海外は2,878百万円(前年同期比7.8%増)となりました。

営業損益

損益面では、減収になったことおよび震災直後の状況を鑑み4月に予定していた商品PRのTVC Mを急遽、企業CMに差し替えたことによりマーケティング費用が増加し、営業利益は2,204百万円(前年同期比27.5%減)となりました。

② 栄養補助食品関連事業

売上高

栄養補助食品関連事業の売上高は13,360百万円(前年同期比2.2%増)となりました。

	平成23年3月期 前第2四半期連結累計期間		平成24年3月期 当第2四半期連結累計期間		伸び率 (%)
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	
通信販売	5,467	41.8	5,564	41.7	1.8
店舗販売	3,584	27.4	3,275	24.5	△8.6
卸販売他	2,689	20.6	3,329	24.9	23.8
海外	1,333	10.2	1,190	8.9	△10.8
合計	13,075	100.0	13,360	100.0	2.2

製品面では、ダイエットサプリメント「カロリミット」が前年同期比で大幅に伸長したほか、中高年のお客様向けサプリメントも堅調に推移し増収となりました。

販売チャネル別では、通信販売は5,564百万円(前年同期比1.8%増)、店舗販売は3,275百万円(前年同期比8.6%減)、卸販売他は3,329百万円(前年同期比23.8%増)、海外は1,190百万円(前年同期比10.8%減)となりました。

営業損益

損益面では、増収となったものの、ダイエットサプリメント「カロリミット」に対するマーケティング費用を前年同期に比べ増加させた結果、営業利益は540百万円(前年同期比31.3%減)となりました。

③ その他

売上高

その他の売上高は7,853百万円(前年同期比12.2%減)となりました。

	平成23年3月期 前第2四半期連結累計期間 (百万円)	平成24年3月期 当第2四半期連結累計期間 (百万円)	伸び率 (%)
発芽米事業	1,466	1,425	△2.8
青汁事業	1,958	1,772	△9.5
いいもの王国通販事業	3,508	2,971	△15.3
その他の事業	2,010	1,684	△16.2
合計	8,943	7,853	△12.2

発芽米事業は、卸販売他が増収となったものの、その他のチャネルが振るわず、1,425百万円(前年同期比2.8%減)となりました。

青汁事業は、主力の「ケールまるごと搾り」が健闘したものの、その他の製品群が振るわず、1,772百万円(前年同期比9.5%減)となりました。

いいもの王国通販事業は、季節商材の販売好調により回復傾向にあるものの、東日本大震災後の落ち込みの影響が残り、2,971百万円(前年同期比15.3%減)となりました。

その他の事業は、雑貨事業の再構築に伴い在庫品をセール価格で販売したことなどにより、1,684百万円(前年同期比16.2%減)となりました。

営業損益

損益面では、発芽米事業の原価率改善による黒字幅の拡大で、営業損失は前年同期に比べ2百万円縮小し、356百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産は、前連結会計年度末に比べて1,392百万円減少し、92,637百万円となりました。この要因は、流動資産の減少706百万円および固定資産の減少685百万円であります。流動資産の減少の主な要因は、現金及び預金の減少541百万円、受取手形及び売掛金の減少547百万円と有価証券の増加493百万円であります。固定資産の減少の主な要因は、敷金及び保証金や長期貸付金、繰延税金資産の減少による投資その他の資産の「その他」の減少793百万円であります。

負債は、前連結会計年度末に比べて896百万円減少し、14,486百万円となりました。この要因は、流動負債の減少400百万円と固定負債の減少495百万円であります。流動負債の減少の主な要因は、法人税等の支払いによる未払法人税等の減少1,102百万円と支払手形及び買掛金の増加225百万円、未払金の増加などによる流動負債の「その他」の増加430百万円であります。固定負債の減少の主な要因は、退職給付引当金の減少466百万円であります。

純資産は、前連結会計年度末に比べて496百万円減少し、78,151百万円となりました。この主な要因は、利益剰余金の減少302百万円および新株予約権の減少139百万円であります。利益剰余金の減少の要因は、配当金の支払いによる減少1,103百万円と四半期純利益801百万円による増加であります。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末と比べ0.9ポイント上昇し、84.1%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は28,524百万円となり、前連結会計年度末より454百万円増加いたしました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は3,086百万円(前年同期は3,186百万円の収入)となりました。この内訳の主なものは、税金等調整前四半期純利益1,492百万円、減価償却費1,585百万円、売上債権の減少569百万円およびその他流動負債の増加812百万円などによる増加と、法人税等の支払額1,567百万円などによる減少であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は1,478百万円(前年同期は215百万円の支出)となりました。この内訳の主なものは、有形固定資産の取得による支出1,067百万円、無形固定資産の取得による支出1,137百万円および有価証券の取得による支出1,000百万円などによる減少と、有価証券の売却及び償還による収入1,502百万円などによる増加であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は1,184百万円(前年同期は1,139百万円の支出)となりました。この内訳の主なものは、配当金の支払額1,100百万円、自己株式の取得による支出53百万円などによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

現時点における通期の業績予想につきましては、平成23年5月9日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

第1四半期連結会計期間より、「1株当たり当期純利益に関する会計基準」(企業会計基準第2号平成22年6月30日)及び「1株当たり当期純利益に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第4号平成22年6月30日)を適用しております。

潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定にあたり、一定期間の勤務後に権利が確定するストック・オプションについて、権利の行使により払い込まれると仮定した場合の入金額に、ストック・オプションの公正な評価額のうち、将来企業が提供されるサービスに係る分を含める方法に変更しております。

なお、この変更に伴う影響はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	18,661	18,119
受取手形及び売掛金	10,187	9,639
有価証券	10,911	11,404
商品及び製品	3,090	2,899
仕掛品	33	54
原材料及び貯蔵品	3,178	3,300
その他	2,422	2,357
貸倒引当金	△189	△186
流動資産合計	48,295	47,588
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	23,183	23,235
減価償却累計額及び減損損失累計額	△12,709	△12,983
建物及び構築物(純額)	10,474	10,252
機械装置及び運搬具	5,582	5,814
減価償却累計額及び減損損失累計額	△4,609	△4,786
機械装置及び運搬具(純額)	973	1,028
工具、器具及び備品	6,210	6,671
減価償却累計額及び減損損失累計額	△5,182	△5,484
工具、器具及び備品(純額)	1,028	1,187
土地	10,885	10,860
リース資産	286	282
減価償却累計額及び減損損失累計額	△180	△205
リース資産(純額)	105	77
その他	85	54
有形固定資産合計	23,552	23,460
無形固定資産		
のれん	397	340
その他	3,370	3,637
無形固定資産合計	3,768	3,978
投資その他の資産		
投資有価証券	11,906	11,896
その他	6,507	5,713
投資その他の資産合計	18,413	17,610
固定資産合計	45,734	45,048
資産合計	94,030	92,637

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,367	3,593
未払法人税等	1,654	551
賞与引当金	966	963
ポイント引当金	1,391	1,432
資産除去債務	3	11
その他	4,759	5,189
流動負債合計	12,142	11,742
固定負債		
退職給付引当金	2,155	1,688
役員退職慰労引当金	99	104
資産除去債務	485	489
その他	500	461
固定負債合計	3,240	2,744
負債合計	15,382	14,486
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,795	10,795
資本剰余金	11,706	11,706
利益剰余金	56,069	55,767
自己株式	△306	△360
株主資本合計	78,264	77,908
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5	4
その他の包括利益累計額合計	5	4
新株予約権	377	238
純資産合計	78,647	78,151
負債純資産合計	94,030	92,637

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	45,776	43,920
売上原価	15,890	14,600
売上総利益	29,886	29,319
販売費及び一般管理費	27,297	27,798
営業利益	2,588	1,521
営業外収益		
受取利息	43	35
受取配当金	18	15
保険返戻金	—	15
雑収入	59	55
営業外収益合計	121	121
営業外費用		
持分法による投資損失	188	—
為替差損	38	4
貸倒引当金繰入額	—	138
雑損失	22	29
営業外費用合計	250	172
経常利益	2,460	1,470
特別利益		
固定資産売却益	0	3
貸倒引当金戻入額	—	125
受取保険金	—	52
新株予約権戻入益	—	139
その他	1	—
特別利益合計	1	320
特別損失		
固定資産売却損	0	3
固定資産除却損	13	5
減損損失	13	37
店舗閉鎖損失	62	72
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	309	—
抱合せ株式消滅差損	—	143
その他	78	36
特別損失合計	477	297
税金等調整前四半期純利益	1,984	1,492
法人税、住民税及び事業税	1,120	423
法人税等調整額	△111	267
法人税等合計	1,008	691
少数株主損益調整前四半期純利益	975	801
少数株主損失(△)	△1	—
四半期純利益	976	801

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	975	801
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1	△0
持分法適用会社に対する持分相当額	△4	—
その他の包括利益合計	△6	△0
四半期包括利益	968	800
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	970	800
少数株主に係る四半期包括利益	△1	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,984	1,492
減価償却費	1,416	1,585
減損損失	13	37
のれん償却額	56	56
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△19	△6
賞与引当金の増減額(△は減少)	△24	△12
ポイント引当金の増減額(△は減少)	18	40
退職給付引当金の増減額(△は減少)	116	△475
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	9	4
受取利息及び受取配当金	△62	△49
為替差損益(△は益)	45	3
持分法による投資損益(△は益)	188	—
投資有価証券売却損益(△は益)	—	0
投資有価証券評価損益(△は益)	4	7
固定資産売却損益(△は益)	△0	△0
固定資産除却損	13	48
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	309	—
抱合せ株式消滅差損益(△は益)	—	143
新株予約権戻入益	—	△139
売上債権の増減額(△は増加)	412	569
たな卸資産の増減額(△は増加)	400	58
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△310	170
その他の固定資産の増減額(△は増加)	80	23
仕入債務の増減額(△は減少)	219	223
その他の流動負債の増減額(△は減少)	456	812
その他の固定負債の増減額(△は減少)	△42	6
その他	111	0
小計	5,399	4,601
利息及び配当金の受取額	68	52
法人税等の支払額	△2,281	△1,567
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,186	3,086
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	1,000	—
有価証券の取得による支出	△1,998	△1,000
有価証券の売却及び償還による収入	1,999	1,502
有形固定資産の取得による支出	△665	△1,067
有形固定資産の売却による収入	2	29
無形固定資産の取得による支出	△566	△1,137
投資有価証券の売却及び償還による収入	0	0
貸付けによる支出	—	△90
貸付金の回収による収入	12	1
その他の支出	△56	△19
その他の収入	56	303
投資活動によるキャッシュ・フロー	△215	△1,478

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の処分による収入	0	0
自己株式の取得による支出	△0	△53
配当金の支払額	△1,102	△1,100
その他	△36	△30
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,139	△1,184
現金及び現金同等物に係る換算差額	△42	△3
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,788	419
現金及び現金同等物の期首残高	25,010	28,070
非連結子会社との合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	34
現金及び現金同等物の四半期末残高	26,799	28,524

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	化粧品 関連事業	栄養 補助食品 関連事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	23,757	13,075	36,833	8,943	45,776	—	45,776
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	23,757	13,075	36,833	8,943	45,776	—	45,776
セグメント利益又は損失(△)	3,038	786	3,824	△358	3,465	△877	2,588

- (注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、雑貨・装身具類・肌着類・健康器具・家庭用雑貨の通信販売、発芽米事業、青汁事業、エステ事業等を含んでおります。
- 2 セグメント利益又は損失の調整額△877百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれており、その主なものは、報告セグメントに帰属しない親会社本社の総務部門等にかかる費用であります。
- 3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	化粧品 関連事業	栄養 補助食品 関連事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	22,706	13,360	36,066	7,853	43,920	—	43,920
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	22,706	13,360	36,066	7,853	43,920	—	43,920
セグメント利益又は損失(△)	2,204	540	2,744	△356	2,388	△867	1,521

- (注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、雑貨・装身具類・肌着類・健康器具・家庭用雑貨の通信販売、発芽米事業、青汁事業、エステ事業等を含んでおります。
- 2 セグメント利益又は損失の調整額△867百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれており、その主なものは、報告セグメントに帰属しない親会社本社の総務部門等にかかる費用であります。
- 3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。